

「せっかく」と「わざわざ」

次の4つの例文を見てみましょう。

- (a) わざわざ日本まで来たのだから、日本語がうまくなりたい。
- (b) せっかく日本まで来たのだから、日本語がうまくなりたい。
- (c) わざわざ息子のためにスーツを作ったのに、ぜんぜん着ない。
- (d) せっかく息子のためにスーツを作ったのに、ぜんぜん着ない。

上記で、(a)と(b)、(c)と(d)は、意味はほとんど同じですが、ニュアンスが少し違います。

(a)は「わざわざ遠い所を日本まで来たのだから」、また、(b)は「せっかく日本まで来たのだから、そのチャンスに」という話者の気持ちを表します。

(c)は「わざわざ、時間・お金をかけて作ったのに」、また、(d)は「せっかく息子が喜ぶと思って作ったのに」という意味合いになります。

(1) 「わざわざ」は、誰かがお金や手間や時間をかけて努力して何かをする（した）という意味合いを表します。

- ・ わざわざ成田空港まで迎えに行く
- ・ わざわざ美容院に行ったのに、雨で髪がくしゃくしゃになってしまった

(2) また、「わざわざ」は、ある意図を持って何かをする（した）という意味があります。つまり何かをする時に普通の方法があるのに、困難な、または変った方法を選んだり、やる必要がないのにやったという事を表します。

- ・ 近いのにわざわざ車で行く
- ・ 近道があるのに、わざわざ大通りを通って駅まで行った

(3) 「せっかく」を使って、ある状況が、価値がある、又は好ましいものであり、その状況を無駄にしたくないと言う気持ちを付け加えることができます。話し手がその状況をうまく使いたい、又は期待している事を実現させたいという場合には「(だ) から」がよく使われます。逆に、状況が話し手の期待にそむいた時、好ましい状況が無駄に

なってしまった時は「(な) のに」「(のだ) が」がよく使われます。

- せっかく来てくれたのだからお昼をごちそうします
- せっかくいい天気になったのだからピクニックに行きましょう
- せっかく彼女が電話をくれたのに仕事が忙しくて会う事ができなかった
- せっかくパソコンを買ったのにぜんぜん使い方がわからない

(4) 「せっかく」には名詞的用法があります。「せっかくの○○○」と言う場合「○○○」には価値があるとか、素晴らしいことだ等の意味を表します。

- せっかくの休みだからゆっくりしよう
- せっかくのごちそうなのにさめてしまった
- せっかくのお招きですが、残念ながらいけません

(5) 「わざわざ」にも名詞的用法がありますが、誰かが「来た」とか「尋ねてきた」ことに対してお礼を言う時以外はあまり使いません。

- わざわざのお越しありがとうございます
- わざわざのお見舞いありがとうございます

(6) 「わざと」は、意図的にやったという事を表します。多くの場合、隠された本当の目的があると言う事を示します。人の注目や同情を引いたり、ごまかしたり、だましたりするために、意図的にある行動をするとき「わざと」を使います。

- 彼女はわざと彼の足を踏んだ
(足を踏む事によって、彼の注意を彼女に向けようとした)
- あまり痛くないのにわざとその子は大きな声で泣いた
(同情を引きたいために大声で泣いた)

練習問題 ()の中に適切な言葉を入れなさい。

(わざわざ・わざと・せっかく・せっかくの)

1 ()きれいに並んでいたのに、バラバラにしてしまった。

2 遠い所を ()来てくれてありがとう。

3 ()覚えたのに、試験が終わったらすぐ忘れてしまった。

4 彼は怒って()大きな音を立ててドアを閉めて出ていった。

5 ()お祝いなのだから、たくさん飲んで下さい。